

# ぬまづ憲法9条の会

167号  
2020年1月1日  
事務局  
神田健夫  
921-7755

## いよいよ対決の正念場 改憲発議に反対する 緊急署名に取り組もう

狙う任期中の改憲。先の国会で改憲手続法改正案の採決も改憲原案

安倍首相主催の桜を見る会の疑惑は底知れず。内閣官房は資料を捨てて、ないない尽くしの答弁を繰り返す。安倍首相本人は予算委員会での説明から逃げ回る。

### 「桜」 私たちは忘れない

そのうち人々は忘れるだろうと高を括っている。だが、ことは、税金を使った政府行事を首相自らが事実上の選挙活動に利用した疑惑である。世論は納得のいく説明を求めている。立憲野党も同様だ。私たちは正月を越えても忘れない。

### 4国会連続 発議阻止

安倍首相が執念を持って

の提示も阻止した。市民と立憲野党は4国会連続で改憲案提示見送りに追い込んだ。

だが、自民党は、二階幹事長、岸田政調会長を先頭に各地で改憲集会を開き、地域での世論喚起に力を入れている。

一方、自民党内では、「首相任期中の改憲実現を困難視する声が広がっている」（朝日新聞）とも報じられている。

### 草の根対決が

九条の会・9条マガジン編集後記は言う。

「いよいよ安倍改憲との対決の正念場が来ます。この

新しい段階にふさわしい内容で、呼びかけ人の態勢も増やし、『安倍改憲発議に反対する全国緊急署名』が始まります」と。

### 空母の保有

ポチとしてトランプ大統領領言いなりに兵器の爆買いを続ける安倍内閣の大軍拡予算。

中でも、攻撃型自衛隊への転換として、護衛艦いずもの空母への改造、短距離離陸・垂直着陸のできるF35Bステルス戦闘機の購入に目を向けよう。

この二つを合体すれば、憲法上できないとされてきた、空母を保有することになる。

他方、福祉・医療、教育・文化が犠牲にされる。

### 中東への自衛隊派兵

政府は、「日本関係船舶

の保護を直ちに要する状況にはない」としながら、自衛隊を中東海域に派兵することを閣議で決めた。国会審議抜きである。アメリカ軍主導の「有志連合」と情報共有するという。戦争法制成立後、初めての海外派兵である。

### 成人式(20歳の集い)のリーフ配布にご協力を

1月12日・日曜に成人式が行われます。ぬまづ9条の会、大平、原の会がお祝いの言葉とともに、リーフレットを届けます。

### ぬまづ9条の会総会

1月13日(月・祝日)

13時30分

### 沼津労働会館3階

1年間の活動、今後のこと、役員体制を話し合います。どなたでも参加できます

### 謹賀新年

### 9条を変えさせない

集会・スタンディング

1月19日(日)

沼津中央公園

集会 13時30分(小冊子発行)

スタンディング14時(雨天中止)

大手町交差点

### スタンディング

### 改憲を断念させよう

1月11日・18日・

25日・各土曜

14時~14時45分

沼津駅南口井上靖碑前

主催・戦争させない憲法壊すな

沼津の会



### 中村哲さん凶弾に逝く

加藤登紀子（歌手）さんは語る。

2001年9月11日の同時多発テロ直後、中村哲さんは「無差別空爆は絶対にやめてください。人々の命を守るために、砂漠を緑に変え、人びとの暮らしを取り戻すことが急務です」と発信されました。

それから18年、彼はこの信念を貫き、数多くの水路を建設し、砂漠を緑に変え、たくさんの村を復活させ、モスクを学校を築いてきました。

宗教の壁も越え、医師でありながら、水路を建設する土木工事の先頭に立ち、農業の復活を願った中村哲さんの遺志は、混乱する世界に投げかける希望の光です。

西谷修さん（東京外国語大 学名譽教授）は述べる。

2001年冬、米軍の空

爆が始まって・・・自衛隊の派遣について（国会で問われた）中村さんは、言下に「百害あって一利なし」と答えた。すると自民党席から「売国奴」というヤジが飛んだ。自衛隊の派兵を拒否する中村さんは、日本政府周辺からこのような扱いを受けてきたのだ・・・

### 伊藤詩織さんの勇気

ジャーナリスト・伊藤詩織さんが、山口敬之・元TBSワシントン支局長による性暴力被害の損害賠償を求めた裁判。

心配していた。判決は勝訴だった。よかった。

伊藤さんを支えた梁澄子さんは「顔や名前を出し、バッシングで心が折れそうになっっている姿を見たが、それでも人前に立つ時はしっかりしていた。今回の勝訴は伊藤さんの努力」という。

西廣陽子弁護士は「詩織さんが被害体験を公表した

ことを判決は公共性、公益性があると認定した。これは多くの性被害者を勇気づけるものだ」と述べる。

フラワーデモが全国31都市に広がり、刑法改正への市民運動も広まっている。

### 山口敬之氏とその近辺

山口敬之氏は、安倍首相を描く本『総理』発売時に安倍事務所に1000部買ってもらった。

元官邸スタッフ・中村格氏（当時警視庁刑事部長、現警察庁官房長）に、伊藤さんへの性暴力事件の逮捕状執行直前に、停止してもらった。

ページ社のスーパーコンピュータ助成疑惑との関わりも、法学者・水島朝徳氏、経済学者・金子勝氏などは厳しく指摘している。

### 徴用工問題の解決を

日韓弁護士、支援者たちの声明（抜粋）

何よりも問題なのは、人権侵害を行った日本企業（三菱重工、日本製鉄など）や、それに関与した日本政府が、自らの加害責任を棚に上げて韓国大法院判決を非難していることである。

被害者である（当時少女、未成年者だった）原告は、日本で最初に裁判を始めてから20年以上を経て自らの権利主張が認められたのである。その大法院判決を非難するということは、被害者の法的救済を妨害し、さらに被害者に新たな苦しみを与えるものと言わざるを得ない。日本国憲法により普遍性を有する個人の人權を尊重しなければならぬと命じられている日本政府の取るべき態度ではない・・・

今の悪化した日韓関係を改善するためには、被害者と日本企業との間で徴用工・勤労挺身隊問題の解決のための協議の場が設けられ、日韓両国政府がそれを尊重する姿勢をとることこそ、

日韓関係改善に向けた確実な一歩になると確信している。

この声明は昨年8月に発せられた。今尚、安倍首相の認識は変わらない。だが、解決へ韓国との対話の継続こそ求められる。

### 沖縄・辺野古新基地

秋田のイーシス・アショア配備は見直しの検討に入るといふ。喜ばしい。だが、沖縄・辺野古新基地への強行姿勢は変わらない。キャンプ・シユワブ基地前の座り込みは2000日に達した（12月27日）。

故 中村哲医師

